

泉南 アスベスト 被害救済 国会通信

●大阪・泉南アスベスト国賠訴訟原告団 / 弁護団

控訴断念まで頑張る

アスベスト被害についての国の責任を認めたと一九日の判決から週明けの二四日、引き続き大阪泉南から原告6人他計15人が駆け付け、次々にマイクを握り、口々に「国は控訴しないで」、「時間はないのです。早く謝って、私たちを救って」と訴えました。

生まれて初めて東京に来た

原告の一人原まゆみさんは、「生まれて初めて新幹線に乗り、生まれて初めて東京に出てきた。こんなことで東京に来るとは思わなかった」と語り、自分は四四年間石綿で働いてきた。ただ生活のために一生懸命働いて、石綿の病気になる。この病気の苦しきはなかなか人には分かってもらえないけれど、自分と一緒に働いてきた仲間はずっとたくさん数え上げたらきりがなく、石綿の病気で死んでいった。「おかみのえらいさん達、時間がないんです。ちよつとでも早

く救ってください」と、厚生労働省の建物を天を仰ぐように訴えました。

原さんは、じん肺管理区分2と続発性気管支炎の病名で労災認定を受けていますが、「管理区分4相当」と最近診断を受けています。その体をおして初めての上京でした。トットツとした話し口ながら聞いた人に響く訴えでした。

同じく五〇年ぶりに東京に来たという原告の古川昭子さんも、一緒に働いていた人がいっぱい肺の病気で死んでいった。「時間がないんです。控訴なんかせんと私らを救ってください」と訴えました。

地元からも「控訴断念せよ」の声

地元の泉南市の向井市長は、「国に控訴断念の要請書を提出することを前向きに検討してい

る。市議会堀口議長は、「自分一人でも要望する」と発言。となりの阪南市の福山市長は、「控訴断念のために」急いで動いている。ファックスでも電話でも何でもする」と発言。

あいさつ、激励、ご支援のお願い



二四日午後衆議院議員会館前で控訴断念・早期解決を訴える原告らに、末松義規議員（民主）が激励のあいさつに見えました。議員のみなさんませひ原告らを励ましてください。

- ★9時から9時半 総理官邸前
- ★10時から13時 厚生労働省前
- ★14時から16時 議員会館前、官邸周辺です。
- ★26日は午前11時から、厚生省前で「控訴断念を求める大行動、デモ行進」にご参加を！



大阪・泉南アスベスト被害 国は責任を認めて早期解決を!